



平成 30 年度第 4 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 平成 30 年 9 月 22 日(土)13:00~18:00

開催場所 静岡県栄養士会事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏名	坪井	木下	新井	大塚	伊奈	辻井	竹澤	末永	篠原	森下	矢ノ下
出欠	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏名	若林	石垣	池谷	上田	久保田	渡邊美	鈴木	渡邊潤	田森	寺田	芹澤
出欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
監事	秋谷	紅林									
出欠	×	○									

開 会 定刻に至ったため、木下副会長が出席理事を確認、出席者が過半数に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、公衆衛生事業部の竹澤理事と研究教育事業部の末永理事が指名された。

1 会長あいさつ

坪井会長から、時節のご挨拶があった。

2 前回議事録の確認

- ・第 3 回理事会議事録（案）については、全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 2 項）

(1)会長

- 8月4日(土) 浜松 ヤクルト提唱のつどい 栄養の日イベント
- 8月29日(水) 静岡市役所 平成30年度第1回静岡市食育会議
- 9月3日(月) もくせい会館 平成30年度「障害を理由とする差別解消推進県民会議
- 9月8日(土) あざれあ DAT会議 及び DAT研修会
- 9月20日(木) ホテル竜宮 牛乳協会料理コンテスト書類審査

## (2)木下副会長

7月16日(月)	事務所	式典打ち合わせ
7月24日(火)	県庁長寿政策課	地域包括ケア会議について
7月28・29日	横浜市	全国栄養士大会
8月4日(土)	浜松市	ヤクルト健康づくり提唱のつどい 栄養の日イベント
8月8日(水)	浜松市	第12回ふじのくに食育コンテスト審査
8月11日(土)	事務所	名簿作成打ち合わせ
8月16日(水)	浜松市E&C本社	広報部とHPについて打ち合わせ
9月1日(土)	浜松市	西部・中東遠地区交流会
9月8日(土)	あざれあ	DAT運営委員会会議・DAT研修会
9月17日(月)	事務所	栄養ケア・ステーション部打ち合わせ
9月19日(水)	事務所	式典打ち合わせ、ホテルとの打ち合わせ

## (3)新井副会長

8月4日(土)	ヤクルト提唱のつどい 栄養の日イベント (サーラシティ浜松)
9月8日(土)	DAT会議 及び DAT研修会 (あざれあ)
9月9日(日)	研修部会、DVD研修 (静岡県立大学)
9月22日(土)	三役会議

## 4 報告事項

### (1)研修部

#### ① 研修会実施報告 (7~9月上旬)

##### ・研修部主催

7/22	研究教育 「パワーポイントによる媒体作成研修会」	参加 8名
8/25	学校 「学校における食育の評価～目標設定のポイント～」	参加 27名
9/9	生涯教育基本 DVD研修	
	「4-1」 参加 13名 (午前10名、午後3名)	
	「4-2」 参加 8名 (午前8名、午後なし)	
	「4-3」 参加 13名 (午前5名、午後8名)	
	「4-4」 参加 16名 (午前7名、午後9名)	
	「4-5」 参加 9名 (午前2名、午後7名)	
	「4-10」 参加 9名 (午前2名、午後7名)	

##### ・生涯教育基本 DVD研修のアンケート結果 (資料参照)

##### ・研修部主催以外

6/30	福祉 平成30年度介護報酬改定 (栄養関連) に関する伝達研修会	参加 48名
7/7	よりソリ担当及びケアステ 栄養ケア寄り添い型ソリューション 指導者研修会 DVD研修および演習	参加 24名
8/4	西部理事 ヤクルト委託事業「健康づくり提唱のつどい:栄養の日」	参加 110名
8/19	医療 「栄養情報提供書を学ぼう①②」	参加 63名

9/8 DAT「災害時栄養支援スタッフ養成研修会、静岡県の防災対策の現状」参加 44名

② 交流会実施報告（西部）

参加 35名

③ 第1回研修部運営会議

9/9(日)9:45~12:00 静岡県立大学にて 参加6名

研修部運営会議の議事録参照

④ 交流会実施報告（西部）木下副会長

開催日時・会場：平成30年9月1日（土）15:15~16:15 浜松市福祉交流センター

参加者：会員34名、非会員（研修会講師）1名

テーマ：「近くの栄養士、管理栄養士を知ろう！」

実施内容：静栄および日栄の組織と活動について説明。静栄の各事業部、地区研修会の紹介。

参加者がグループに分かれて自己紹介や職場で抱える悩みを打ち明け、ディスカッションすることで職域を超えて交流した。

実施効果：入会間もない会員の参加も多数あり、先輩栄養士や他職域の栄養士から問題解決のヒントを得ることができたようであった。研修会講師の平出高乗先生にもご参加いただき、和やかな雰囲気グループディスカッションを行うことができた。

交流会終了後には会員同士が連絡先の交換をする姿も見られ、当初の目的を達成することが出来たと思われる。

担当：西部理事（従事者：木下初代、上田規江、竹澤いずみ、渡邊潤、地区研運営委員）

(2) 医療事業部（久保田理事）

① 8月25日 平成30年度上半期東海北陸リーダー研修会（名古屋市）に出席

② 次回会議日程決定 2月2日~3日（岐阜県大垣市）

③ 次年度研修日程決定 平成31年8月24日（土）上半期東海北陸リーダー研修会（名古屋市）

④ 栄養情報提供書の研修会開催

開催日：8月19日（日） 参加者：会員62名・非会員1名

会費：会員1,000円、非会員4,000円を徴収し、講師代・旅費・その他経費にあてた。

(3) 広報部（篠原理事）

① 8月16日、ホームページ改訂のため業者を訪問

出席者：木下副会長、篠原理事、事務局（安倍さん）

エボリューション&クリエイト（中村社長・担当者：五十嵐）

※ ホームページ改訂内容・見積もりは別紙

② 9月22日10時 第1回広報部会会議 議事録別紙

(4) JDA-DAT リーダー育成研修およびリーダースキルアップ研修報告

開催日時・会場：平成 30 年 9 月 15 日(土)～17 日(月) 名古屋文理大学短期大学部

【リーダー育成研修】

参加者：

《静栄派遣》館石知美会員（中東遠総合医療センター）、三浦智広会員（市立島田市民病院）

《県派遣》江間章子会員（県西部健康福祉センター）

《自費》石垣範子理事、關恭子会員（富士市立こども療育センター）

【リーダースキルアップ研修】

参加者：《自費》池谷広美理事

効果：静岡県栄養士会に 5 名の新たな JDA-DAT リーダーが誕生する。

(5) 福祉事業部（田森理事）

ふじのくにケアフェスタ 2017 報告

※詳細は別添の報告書を参照

開催日時：平成 30 年 9 月 15 日(土)、16 日(日)10:00～16:30 ツインメッセ静岡

主催：静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課

公式 HP <http://www.kaigo2016.net/>

事業依頼：現場の魅力発信ブースでの栄養士会からの情報提供など

担当：地区事業部 福祉事業部

従事者：別紙報告者のとおり

予算：人件費 5,000 円×4 名×2 日分（40,000 円）

準備物品：①掲示用のポスター類 ②配布用の冊子類 ③栄養士会案内、のぼり、その他

(6) 学校健康教育事業部

食育の評価研修会 報告

開催日時：平成 30 年 8 月 25 日（土）13:30～16:30

開催場所：あざれあ 2 階 大会議室

講師：お茶の水女子大学 赤松利恵 教授

参加者：26 名

内容：目標の種類、到達目標への置き換えと評価指標（評価方法）、グループワーク

反省点(次年度へ向けて)：

参加者が少なかつたため、日程の検討が必要

(7) 地区事業部

特になし

## (8) 静栄 DAT

### ①平成 30 年度災害時食支援スタッフ養成研修会報告

開催日時・会場：平成 30 年 9 月 8 日（土）13：25～16：40 あざれあ

参加者：会員 43 名

研修内容：会長挨拶

講演 1 静岡県の防災対策の現状について

静岡県危機管理部 藤本啓一氏、杉山徹氏、井澤達哉氏

講演 2 JDA-DAT の活動を知り、災害時に自分は何ができるのかを考える

1) JDA-DAT 研修に参加して 池谷広美リーダー

2) 被災地に派遣されて出来たこと 野原久美子リーダー

3) 被災地に派遣されずに出来たこと 渡邊潤リーダー

効果：新たに 21 名が静岡県栄養士会災害時栄養支援スタッフに登録された。

### ②第 14 回静栄 DAT 運営委員会報告

開催日時・会場：平成 30 年 9 月 8 日（土）10：00～12：00 あざれあ

出席者：坪井厚、新井英一、木下初代、戸井口淳子、小川保人、池谷広美、寺田直哉、杉山貴紀、  
渡邊潤（欠席者：古橋啓子）

1) 会長挨拶

2) 報告事項

○第 13 回議事内容確認

○前回からの活動内容

H30 年度静栄 DAT 構成メンバー表作成

災害支援パンフレット完成

静栄 DAT メールマガジン配信（第 1 号～第 3 号）

西日本豪雨災害栄養・食生活支援の募金実施（3 会場）

西部地区研修会・交流会で災害時食支援についての講演・討議を実施

○予定

9/8 災害時栄養支援スタッフ養成研修会開催

9/15～17 第 8 回 JDA-DAT リーダー育成研修開催（名古屋文理大学）

9/15～17 第 3 回 JDA-DAT リーダースキルアップ研修開催（名古屋文理大学）

10/13 災害支援研修会・交流会開催（富士・富士宮地区）

3) 協議事項

○2018～2019 年度活動予定

○スタッフ管理について

○災害支援事業普及パンフレットについて

○災害時のスタッフ派遣手順について

○その他

・静岡県栄養士会災害対策マニュアルについて

(9) 地域活動事業部 ※ 詳細は別添資料を参照

※ 東海北陸ブロック会議 平成 30 年 7 月 8 日～9 日 木下副会長、若林理事参加

(10) 委託事業報告 (地域活動事業部)

①しずおか健幸惣菜レシピ募集等業務 (若林理事)

静岡県健康増進課委託事業 ※詳細は別添資料を参照

契約日：6 月 28 日 契約期間：契約締結日～3 月 12 日

内容：「しずおか健幸惣菜」選定の基準検討会の開催

「しずおか健幸惣菜」の募集・選定

「しずおか健幸惣菜レシピ集」原稿の作成

【進捗状況】

応募締め切り 9 月 14 日ですが、現在追加募集中最終締め切りを 9 月 28 日とした。

現在 9 月 22 日の応募状況 28 メニュー応募がありました。

検討委員の決定 一覧表を作成 ※詳細は別添資料を参照

【依頼事業】 静岡県庁健康増進課より

6 月 18 日 県庁にてレシピ集完成報告&試食会が開催された。

(地域活動事業部会員 6 名で対応)

8 月 30 日 富士健康福祉センターよりの依頼 レシピ集の PR のための講習会開催

(地域活動事業部会員 3 名で対応)

②富士宮市委託事業について

「外食料理栄養成分表示事業」事業名の変更 ⇒ 食文化プロジェクト推進事業に変更

1) 地場産品探検ツアー マックスバリュ東海(株)と連携

現在 7 月 27 日に実施富士宮朝日町店と 8 月 19 日に富士宮万野原店にて実施

11 月 17 日に富士宮若の宮店にて実施予定

2) 健康な食事について考えるランチセミナー 2 店舗開催予定

3) 富士宮市ない栄養成分表示店と地産地消登録店へのマップの配布終了

③元気を見つめる外食活用推進事業

県内 10 校が決定し担当者も決定 ※詳細は別添資料を参照

④食品表示適正化・活用普及委託事業 (池谷理事)

講習会テキストの作成：昨年度のものに修正を加え、第 3 版を 450 部作成 (9 月中に印刷完了)

栄養成分表示作成講習会 (県内 3 会場)

開催時間：午後 1 時 30 分～4 時 30 分

平成 30 年 10 月 19 日(金) 島田市プラザおおるり (定員 150 名)

平成 30 年 11 月 9 日(金) 静岡県総合健康センター (定員 100 名)



平成 31 年 1 月 18 日(金) グランシップ (定員 150 名)

講師：静岡県立大学 教授 市川 陽子 先生、東海大学短期大学部 助教 遠藤 泰子 先生

演習サポート：地域活動事業部 池谷広美 理事 静岡県栄養士会 安倍 由起子 事務局員

最終の静岡市では地域活動の経験者に演習サポートの協力を依頼予定

#### (11) 栄養ケア・ステーション事業報告 (寺田理事)

##### ① 業務受託状況

特定保健指導 16 件、病態栄養指導 11 件、介護支援 27 件、食育支援 87 件、  
食と健康支援 22 件、計 163 件

※本年度は例年になく依頼が多い状況 (ちなみに昨年度の依頼数は平成 23 年度程度に減少)

##### ② 職業紹介事業

平成 30 年度求人件数 39 件 平成 30 年度求職者数 5 名

紹介者数 3 名 雇用契約成立 2 件

(9/10 現在有効求人 31 件 9/10 現在有効求職者 24 名)

※求人が非常に多く、応募者がいない状態が続いている。

平成 24 年以降、求職登録をしたまま継続となっている会員がいるため、有効求職者数が多くなっている。

求人が出るたびに情報を送っているが、反応がないまま求職登録を継続している。

求職登録を継続するかどうかの確認を含め、求職登録から 1 年以上経過している会員へは求職票の再提出をお願いするように考えている。

##### ③ 平成 30 年度 第 1 回栄養ケア・ステーション運営会議 (報告)

9 月 17 日(月)に会議実施。

※詳細は別紙資料を参照

##### ④ 静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会 (報告)

※ 詳細は別添資料を参照

#### (13) 静岡県栄養士会 法人設立 25 周年記念事業について進捗状況報告 (木下総務部長)

※ 詳細は別添資料を参照

・式典の参加について、140 名の見込み予定が 27 名の出席予定。賛助会員もほぼ参加申し込みのない状況。栄養士会にご尽力いただいた方、過去に理事をされた方など、声かけをお願いしたい。せめて会員は 100 名集めたい。

・メニューはフランス料理 4,200 円+フリードリンク 2,300 円に税を含め、計 7,020 円。

・当日配布する記念品として、予算 500 円位の名入りボールペンを候補にあげている。

→今回は記念誌の配布(別日)もあるため、記念品はつけないこととする。

・式典担当役割表を添付したため、ご協力をお願いします。

## 今後の予定

- ・10/14(日)理事会終了後、事前準備を行う。
- ・11/17(土)式典前日は午後に卓上花の準備。
- ・11/18(日)当日 ホテルが9:00に開くため、理事は会場に9:00集合。荷物移動の担当者は栄養士会事務所に9:00集合。

※各担当はとりあえずの割り振りをしているため、臨機応変に対応をお願いしたい。

- ・静岡フィルの方は11:30には控室があくため、そちらへ案内する。  
昼食(お弁当)を出し、12:30~13:00頃の出席者の食事時間に合わせて演奏をお願いする。  
謝礼は5,000円/1人とする ⇒ 交通費として支払う(プラスして、お弁当・お茶を付ける。)

## (14)その他

会員名簿進捗状況報告(木下副会長)

8月11日 打ち合わせ ※ 詳細は別添資料を参照

発行部数 1,800部、表紙「ブルー色」、賛助会員は印刷後送付、会員へは12月会費請求時送付  
名簿広告募集状況(9/28締切)について(別紙参照)

表紙1件、1/4ページ1件のみ

今後の名簿のあり方について前回の名簿に記載したが、実際はあまり検討されなかった。  
名簿完成のタイミングで2年後にむけ、名簿発行についての検討を開始すべきではないか。

## 5 協議事項

### (1)「東海北陸地区代表者会議」2019年開催の当番県となることについて(木下総務部長)

開催地(東部・中部・西部)の決定。今年度は富山県

※ 前回の静岡県開催地:熱海(平成24年8月25日(土)、26日(日))

2019年度は静岡が当番

2019年度の静岡での開催会場は、昨年度の理事会で平成30年度に決めることを理事会議事録に記載されている。

- ・この会議は東海北陸地区の7県で順番に開催地を持ち回りしている。開催日は8月末頃が多い。  
1泊2日で、すべてホテルの中でまかなえる会場を選んで開催。静岡県の東中西部、どこの地区でも大丈夫である。
- ・各理事には開催の協力をお願いする。
- ・平成30年度会費の設定(宿泊費・食事代)は17,000円掛かるところが日栄から補助があり、参加費は14,000円に設定、会議費が日栄からプラスされる。
- ・2019年度 8月24日 医療事業部は日帰り研修の開催あり。
- ・開催場所候補として、浜名湖のホテル、焼津のホテルに問い合わせを行い、金額ありきで決定していく。



## (2) 研修部

### ① 第4回静岡県栄養士大会

開催日：2019年2月23日(土)

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ5階

研修部から學術部へ引継ぎし、昨年度のアンケート結果等も考慮して運営していく

學術研究発表では各事業部より1演題以上は応募をお願いしたい

午前中の講演会の講師について、本日の理事会で協議・検討

研修部の会議では、防災関係か、地域包括のテーマではどうかという案が出された。

具体的な講師は決まっていない。必要な内容ではあるが、様々な職域に関心を持ってもらう意味では難しいテーマか。次回理事会までに、再度検討する。

- ・講演会の内容について、研修部運営会議では、防災関係か、地域包括の関係の内容でどうかという話が出ているが、内容により、栄養士の関心度合い(集客)がちがう。
- ・防災について、栄養士の関心が高い内容となると、職場の備蓄品の関係の話になるが、最近、多く取り上げられるものは、連携・助け合いの切り口での防災の話となり、その内容で研究会を計画した場合に栄養士が集まるかわからず、必要な内容だが、集客の面で難しい。
- ・地域包括の内容については、スポットのあて方により、集客が変わる。
- ・研修部の打ち合わせの際には、この2つ以外の内容(超高齢社会の低栄養防止の内容等)は出なかったため、広い分野の栄養士に関心を持ってもらえそうな内容にいたしたく、次回の理事会に話し合いを持ち越しとする。

### ② 平成31年度 定時総会

開催日：平成31年6月1日(土)

総会会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホール

展示会場：

- ・6月1日の開催。予備で6月9日も予約している。
- ・特別講演的に講師の依頼をかけていきたいため、ご相談させていただきたい。

※研修部運営会議議事録 参照

・講師(案)：

(1)「料理療法」の提唱～調理による認知症予防の実践的研究～

湯川夏子先生(京都教育大学教育学部 教授)

(2)摂食嚥下障害の評価と訓練の実際

戸原玄先生(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 老化制御学系口腔老化制御学講座 高齢者歯科学分野 准教授)

上記(1)は、湯川先生と栄養士・ケアマネの方が連携して、料理という行為をしながら認知症予防へつなぐ活動をしており、栄養士に関心を持ってもらえそうな内容である。

(2)は摂食嚥下の内容で、学会発表でわかりやすい説明だった。

⇒ 第一希望が湯川先生、第二希望が戸原先生で新井副会長に話を進めていただく。

総会の日程が決まっているため、その日程で先生のご都合を伺う。

③ 30年度 後期研修会 (10月以降)

・研修部主催 (申し込み人数は9月20日現在)

9/29 医療 「サルコペニアの診断・治療をどうするべきか? サルコペニアのモヤモヤ」

「低栄養の病態への新たな理解 その患者さんは、サルコペニア? カヘキシア?  
ダイナペニア? フレイルティ?」 参加申込 93名

・大ホールを予約しているため、参加人数をもう少し集められるとよい。

集客の協力をお願いしたい。

10/28 医療 「栄養診断」「変わり始めた病態を踏まえた栄養管理」 参加申込 102名

「認知症機能低下予防のための身体活動とその効果 (コグニサイズ)」

11/25 3事業部合同 (地域・公衆・勤労)「地域に根ざした食育」 参加申込 21名

未定 研究「EZRによる統計解析をマスターしよう」

未定(1~3月) 生涯教育基本研修 演習

・生涯教育のDVD研修資料について、診療報酬の改定内容等の反映がされていない古い資料のため、更新の依頼中。

・「生涯教育に関する意見交換会」として初の試み(試行)で日栄が各都道府県栄養士会事務局等とWebをつなげて行うWeb会議を計画している。9月27日に実施予定(新井副会長対応)

・研修部主催以外

12/1 中部理事 日本植物油協会委託事業 「食生活と植物油栄養に関する講習会」

参加申込 48名

・役割分担を中部地区理事で、本日理事会終了後に行う。

・集客呼びかけの協力をお願いします。

未定 福祉・公衆合同 「在宅介護者への食生活支援」

・平成31年1/18(金)13:30~掛川市徳育保健センター開催予定。

一般県民向け(介護家族向け)の講座内容で現在調整中。

(3)平成31年度予算編成について(木下総務部長・新井事業部長)

①事業計画について(新井事業部長)

現在、会員数は1,400名余であり、年度の事業およびそれに応じた経費は赤字目前の状態です。会員数が100名程度増に繋がることができれば、現事業計画は円滑に運用することができます。

理事をはじめ多くのご協力をいただき、会員増に対する取り組みについては、継続で実施して頂きたいと思います。

事業の多様化、拡大に伴い、理事の負担も増えつつあります。運営委員の参画も視野にいれて、今後の対応を検討して参りたいですが、運営委員の旅費、日当については、予算申請できておりません(計上できる費用が無い状態です)。このような現状を踏まえ、次年度の事業を計画して頂きたいと思います。1つの例(策)としまして、研修会会場を1日借りて、午前、午後、夕方(夜間)などで運用すると、経費を削減することができたりします。事業部合同で研修会の計画をしていた

だいておりますが、集客数も増やせる幅広い内容の研修会なども検討していただけると幸いです。今年度は中部地区の開催が多数ありましたが、依然、東部、西部開催を希望する会員も大勢おられますので、安価な会場、人員削減などを上手く対応していただきながら、事業計画、予算計画をしていただきたいと思います。

さらに、費用対効果の高い運用方法について、皆様から忌憚なきご意見を頂きたいと思います。

#### ・事業計画及び予算の申請について

次年度の事業計画を立てるにあたり、上記の点を踏まえながら、検討を進めていただきたいと思います。

事業計画及び予算申請の締め切り：12月15日(土)の理事会までに仮案で提出してください。

その後、三役および事務局にて経費の審査を行います。費用の見直し等については、再検討の依頼をお願いすると思います。依頼された理事におかれましては、再考後に次々回(1月)の理事会前までに再提出をお願いしたいと思います。

11月30日(木)までに事務局から送られた様式に記入し、送付する。

トピックスは25周年記念誌と合同とするため、例年掲載していた内容の1部を、ホームページに掲載する。

#### 現状の説明と意見交換

- ・公益社団法人のため、収益事業を公に実施することができない。また、研修事業もスキルアップの内容のみと出来ない。(県民の方へ向けた研修も実施しなければいけない。)運営委員のあり方や、研修会の開催方法等についても、費用がかからない方向に見直しをしていただきたいと思います。
- ・広報部の午前中の会議の際に意見が出たが、研修会の内容を動画で配信することにより、研修会の運営のお金や人数が減らせるのではないか。
- ・経費がかさむものは、旅費と送料。今後、郵便料金の値上げがあるため、送料がさらにかかる。

次年度の計画を立てるにあたり、今年度並みとしないために、時間をとるため、研修会の開催方法について、事業部ごとに見直し(意見交換)をしてください。

医療：病態栄養講座は研修部主体の開催になっても年3回実施。うち1回は同日に2講座を合わせて計画した。中部地区(静岡)を会場にして、大きな会場を確保して対応。また担当理事の交通費が膨らまないよう、開催地区の理事を担当にし、受付等の人数を制限して行っている。1日通しの研修会開催で余分な経費を抑えた。次年度も同様にしたい。

現理事5人いるが、研修受付のお金の管理が無くなるなど、少人数でもできる体制になった。また、役割分担の見直し等行い、将来的には理事の人数減も視野に入れて活動。

福祉：研修会は合同で行ったもの1回と、伝達研修会を1回行った。伝達講習会は非会員からお金を徴収。非会員の方にも来ていただけるものや栄養士会に入っただけの内容にしていくと会員数増加につながるか。寺子屋を3回行っているが、見直しをするならば、大きな研修の後に持ってきて実施すると効率化につながる。

運営委員の体制としては、理事が事業の準備を行い、運営委員が実働というような動き方をしている。

地域活動：研修会は合同で実施。その他、研修に（生涯教育）基本研修をつけて行うとよいのではないかと、今回一緒に実施する予定。運営委員は研修の際、手伝っていただくだけでなく、地域の人たちに情報を伝える役目を担っており、人数は多いが委託事業を行うため、地域包括ケア等で、実働で動ける人が必要な事情もある。

学校教育：理事1人のため話し合いができなかった。研修会は8月に食育評価についての内容で実施したが参加人数が26名と少なく、日程、内容を検討した方がよい。現在運営委員を含め、次年度の研修内容について検討を始めた。

運営委員については、運営委員を経験してから理事に上がってくる形。非会員の栄養士（学校栄養教諭）にも運営委員から研修の案内等の情報を流す役割をお願いしている。

研究：研修の講師をする側のため、立ち位置が他の職域と異なる。運営委員は昨年までメルマガをお願いする役割だったが、今年度はホームページの改訂を検討している関係で、仕事がない状況。

公衆衛生：理事1人のため話し合いができなかった。研修会は11月の食育についての研修を地域・勤労と合同での開催。また、1月開催予定の介護者への研修についても、福祉と合同で開催。今後、もし回数の見直しとなった場合は、人気のある大きな研修の前後に開催の形も考えられる。運営委員は理事の任期終了後の方がなり、事業開催の相談をしたり、事業の手伝いを依頼したり、理事が大変であることを理解し動いてくれ、協力的な状況。

勤労者：研修会は合同で開催しているためこれ以上の削減はない。運営委員は1名おり、何かの時のお手伝いを依頼しているが、今のところは特に動くことがない。（会員数を増やして収益を上げる話が出ていたが、勤労者支援は会員数が少なく、横の繋がりが薄い状況。各企業内にも栄養士会があり、その勉強会に参加して県栄養士会には入っていない様子。

会長のご意見

今回の事業部ごとの意見を踏まえ、三役会議にかけて、次回の理事会には新たな提案をするようにしたい。

会議の途中ですが、日本栄養士連盟、静岡県支部の鈴木支部長よりご挨拶

- ・前期から続投で静岡県支部長を担当している。7月に連盟の会長に就任した加藤会長が7月30日に急逝され、現在、副会長が代行し、任期がほぼ丸二年ある。できるだけ日本栄養士会連盟の業務に支障がないようにしたい。
- ・東京五輪・パラリンピック・栄養サミットが東京で行われる。栄養士会にも風がふくため、その風に乗れるようにしていきたい。
- ・会員数が増となるようにご協力をお願いいたします。

## ②会員名簿の作成について（木下総務部長）

平成30～31年度静岡県栄養士会組織図および役員、運営委員一覧について（別紙参照）

**組織図** 修正 収益事業検討プロジェクトチーム → 収益を公益に直す

**役員・運営委員一覧** 修正

- ・専門部広報部運営委員地区担当の一覧を削除する。



- ・専門事業部理事の一覧は各専門部の部長・副部長の名前が東部中部西部の欄に入っていないが、表をすっきりとさせるため、重複して記載しない。
- ・専門事業部理事の一覧の学術部の東部に篠原理事、中部に末永理事の名前を記載する。

#### 会員名簿について

- ・8/11 打合せ会議を実施（別紙参照）
- ・名簿広告については、賛助会員は61社あるが、記念式典と重なり広告が集まりにくい。（募集期間9/28締めきり）  
毎回、手分けで広告お願いの連絡をしている状況のため、三役 および 理事、事務局で分担して広告依頼をかける。

#### ③お友達紹介制度の次年度継続について（木下総務部長）

次年度も継続するか、しないか。

→記念品が33個あり、なくなるまで継続する

#### (4) 広報部（別紙参照）

##### ①次年度総会時に、おすすめメニューのコンテストの開催について

開催はしないことで、全会一致で承認された。

##### ②ホームページ改定について

- ・本日午前中に第1回広報事業部会を行った。
- ・8月16日に、浜松市内のE&Cを訪問し、改定（案）の相談をかけ、見積もりをお願いした。ページの更新が74,520円、スマホ対応（レスポンスWeb）が約300万円かかる。
- ・栄養士会の山崎会員に見積もり価格の妥当性について相談をかけた、約38万円＋諸経費3万円くらい掛かるとの見積書の提出がある。
- ・ホームページの改訂により、会員の利便性や会費確保、研修会経費削減等に繋がると思われる。
- ・これらを踏まえ、次年度の予算に山崎さんの見積もり価格をもとに、改訂の計画を検討するが広報部で話を詰めてよろしいか。

会長からのご意見

山崎会員からの案は魅力的で、前向きに検討するが、この場では即答できない。

直接、山崎会員に説明を受け、三役で話を詰める方向とする。

##### ③トピックス静栄10号の発行について

- ・発行せず、費用をHP改定に流用する → 賛成多数で決定した

#### (5) 栄養ケア・ステーション部（別紙参照）

##### ①地域ケア会議依頼書の使用について

『地域ケア会議依頼書』を作成。この内容で県に提出してもよろしいか。

- ・変更 依頼書の1の部分（3つめの箇条書き）のその他を削除する。
- ・提出については承認された。

## ②地域ケア会議参加者の確保について

年度内の2月又は3月に、「よりソリ研修会」を西部地区で開催してもよろしいか。

(今年度の予算申請はないが、栄養CS事業費から捻出したい)

- ・西部地区で開催することが承認された。

## (5) その他

- ・障害に関係する団体の会議に出席したが、参加団体が大変多く、障害を持っている方の防災の蓄えや栄養士会としてできること(食の支援等)についての調査をしたいと思った。
- ・皆さんの意見を聞きたい。(坪井会長)
- ・時間、誰が主体で進めるか等のキャパシティーがないため、調査の実施は承認されなかった。

## 6 連絡事項

### (1) 会員への通知発送について

12月15日(土)第6回理事会後に、次年度会費納入依頼通知の発送を予定する。

会員名簿も同時に送付する。

### (2) 郵便料金の値上げについて

平成30年途中での値上げについて(別紙参照)

- ・郵送料、振り込み手数料、今後の消費税増額等、料金が軒並み上がるため、節約を心がけてほしい。

### (3) 平成30年土新入会員名簿、会員数について(別紙参照)

- ・新入会員20名が承認された。
- ・会費未納者は154名から理事の皆さんの協力により、現状では63名に減った。
- ・現在その63名を含めた会員数が1,452名、未納者を除くと1,389名となる。総会時1,399名だったので、10名減少。会員数の維持をしたいため、是非勧誘のご協力をお願いします。

## 7 その他

### (1) 2019年度定時総会の日程について

前回理事会で6月1日に決定したが、念のため9日も大ホールを予約している。

小ホールの予約開始前に押さえないので、どちらかに決定したい。

総会は6月1日で決定した。但し、9日の予約は継続しておく。

## 8 確認事項

### (1) 行事日程の確認について

- ・12月1日(土) 中部地区で日本植物油栄養に関する講習会を開催、坪井会長の出席が確認された。



(2) その他

- ・ 記念誌広告申込状況、記念式典申込状況について
- ・ 功労表彰3名あり（内諾をいただく）。保健衛生関係団体役員で久保田美保子さん、栄養指導業務功労者で鈴木真理子さん、石垣範子さんが受賞される。

以上

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

平成30年9月22日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井厚   
副会長 木下初代   
副会長 新井英一   
監事 紅林真佐代 